

モンテカルロ法によるリアル・オプション分析 正誤表

- P37 下から8行目: 「End Case」 → 「End Select」
- P42 プログラム内下から4行目: 「11行目から」→「3行目から」
- P73 プログラム内下から3行目: 「ByVal X」→「ByVal X As Double」
- P97 図 3.5 X 軸 右端目盛り: 「1」 → 「0. 1」
- P99 プログラム内 上から6行目: 「G27: H5026」→「H27: I5026」
- P120 プログラム内 上から6行目コメント:「上限値」→「下限値」
- P126 プログラム内上から3行目: 「Dim t as Double」を削除
- P128 プログラム内上から3行目: 「, t as Double」を削除
- P133 プログラム内上から4行目: 「, t as Double」を削除
- P136 プログラム内上から2行目: 「, t as Double」を削除
- P146 プログラム内 1 行目 2つの「ByRef」 → 「ByVal」
- P156 上から 10 行目:「 $d_1=0.012$ 」 → 「 $d_2=0.012$ 」
- P160 上から 1 行目:
 「第 4 章 エキゾチック・オプション」 → 「第 5 章 エキゾチックオプションの評価」
- P161 上から6行目: 「17.65」 → 「19.58」
- P163 プログラム内上から 7 行目: 「ペイオフ合計 as Long」 → 「ペイオフ合計 as Double」
- P166 d_3 の式分子: 「 S_0 / K 」 → 「 $S_0 K$ 」
- P166 下から1行目: 「ペイオフ合計 as Long」 → 「ペイオフ合計 as Double」
- P170 本文4行目と6行目: 「 $S_{平均価格}$ 」 → 「 $S_{平均}$ 」
- P233 下から 1 行目: 「If 拡大可能 Then ‘拡大前」
 → 「If Not 拡大オプション Or 拡大可能 Then ‘拡大オプションなしか、拡大前」
- P234 上から 11 行目: 「無リスク金利 * 残り時間」 → 「CF 割引率 * 残り時間」
- P237 下から12行目: 「1,152.45 万ドル」 → 「1,417.20 万ドル」
- P237 下から3行目と6行目:「2,708.28」 → 「2,713.67」
- P238 図7. 5セル C27: 「1,152.45」 → 「1,417.20」
- P238 下から3行目と7行目: 「580.70 万ドル」 →「1,480.70 万ドル」
- P238 下から4行目: 「2,708.22」 → 「2,713.67」
- P238 下から 3 行目: 「2,121,59 万ドル」 → 「1,232,98 万ドル」
- P239 図7. 6セル C27: 「2,702.28」 → 「2,713.67」
- P239 下から7行目: 「1,418.50 万ドル」 → 「2,308.20 万ドル」
- P239 下から6行目: 「837.80 万ドル」 → 「827.50 万ドル」
- P240 図7. 7セル C27: 「1,418.50」 → 「2,308.20」
- P240 下から2行目と9行目: 「3,549.66」 → 「3568.34」

P241 図7. 8セル C27: 「3,549.66」 → 「3,568.34」

P241 下から4行目、6行目、8行目: 「2,968.97 万ドル」 → 「2,087.64 万ドル」

P241 下から6行目: 「1,152.45 万ドル」 → 「1,417.20 万ドル」

P241 下から3行目: 「2,969.39 万ドル」 → 「2,060.48 万ドル」

P244 下から2行目: 「If 拡大可能 Then 拡大前」

→ 「If Not 拡大オプション Or 拡大可能 Then 拡大オプションなしか、拡大前」

P244 上から10行目: 「無リスク金利 * 残り時間」 → 「CF 割引率 * 残り時間」

P247 真ん中のまとめ: 「1,152.45」 → 「1,417.20」

「3,820.74」 → 「2,921.73」

「4,973.19」 → 「4,338.93」

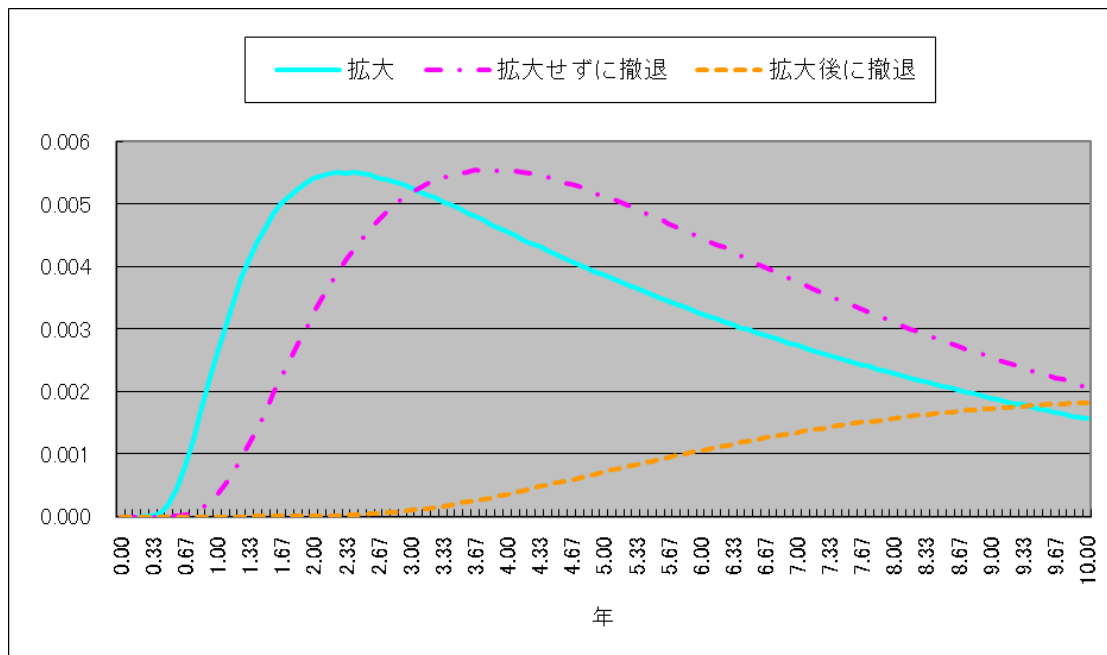
P248 図7. 10

分析1: 最適値がありそうな範囲を粗く分析		※100万回で推定。									
テーブル1		撤退閾値									
		70.0%	65.0%	60.0%	55.0%	50.0%	45.0%	40.0%	35.0%	30.0%	Max
拡大閾値	130	891.2	1,850.7	2,743.9	3,367.6	3,671.2	3,701.6	3,456.2	3,120.8	2,700.7	3,701.6
	150	1,048.9	2,056.5	2,968.8	3,631.3	4,009.5	4,095.2	3,966.4	3,684.6	3,350.9	4,095.2
	170	1,107.4	2,108.8	3,051.4	3,773.4	4,172.9	4,304.3	4,201.3	3,961.8	3,631.2	4,304.3
	190	1,126.4	2,138.8	3,117.9	3,827.2	4,232.9	4,365.4	4,300.3	4,076.1	3,805.8	4,365.4
	210	1,113.3	2,136.8	3,086.9	3,793.1	4,224.8	4,361.9	4,330.1	4,116.7	3,808.8	4,361.9
	230	1,123.6	2,110.5	3,054.6	3,761.0	4,180.1	4,356.4	4,282.8	4,093.2	3,806.3	4,356.4
	250	1,102.7	2,080.2	3,017.1	3,724.4	4,108.5	4,260.9	4,209.5	4,007.2	3,745.2	4,260.9
	270	1,092.6	2,050.3	2,955.9	3,642.6	4,055.7	4,180.3	4,142.3	3,932.2	3,649.0	4,180.3
	290	1,041.1	2,012.3	2,894.6	3,580.2	3,972.0	4,107.6	4,075.6	3,849.7	3,574.4	4,107.6
	310	1,032.7	1,985.7	2,835.1	3,479.8	3,871.9	4,023.1	3,964.3	3,740.4	3,496.8	4,023.1
	330	1,011.2	1,938.9	2,787.3	3,428.5	3,807.2	3,937.4	3,878.0	3,691.9	3,384.0	3,937.4
	350	983.3	1,911.2	2,724.6	3,361.3	3,714.4	3,854.9	3,802.5	3,574.9	3,331.3	3,854.9
	370	973.5	1,871.8	2,700.3	3,305.1	3,664.8	3,790.1	3,732.1	3,537.0	3,249.9	3,790.1
	390	940.5	1,828.4	2,640.4	3,253.5	3,590.5	3,697.8	3,626.2	3,446.1	3,147.8	3,697.8
	410	936.4	1,796.3	2,592.4	3,190.1	3,538.4	3,656.2	3,582.1	3,372.5	3,108.2	3,656.2
	Max	1,126.4	2,138.8	3,117.9	3,827.2	4,232.9	4,365.4	4,330.1	4,116.7	3,808.8	4,365.4

P249 図7. 11

分析2: 分析1での最適解の近辺を細かく分析		※100万回で推定。									
テーブル2		撤退閾値									
		49.0%	48.0%	47.0%	46.0%	45.0%	44.0%	43.0%	42.0%	41.0%	Max
拡大閾値	170	4,215.6	4,271.6	4,287.0	4,309.7	4,303.6	4,301.1	4,284.6	4,240.3	4,224.5	4,309.7
	175	4,228.9	4,276.5	4,303.1	4,320.7	4,329.2	4,309.8	4,297.5	4,282.9	4,287.2	4,329.2
	180	4,288.0	4,305.9	4,304.2	4,371.5	4,333.4	4,337.4	4,339.8	4,289.8	4,304.0	4,371.5
	185	4,286.9	4,300.8	4,327.9	4,363.3	4,355.6	4,402.4	4,370.9	4,333.4	4,321.2	4,402.4
	190	4,294.2	4,324.8	4,351.2	4,367.3	4,370.6	4,368.1	4,359.1	4,356.4	4,308.4	4,370.6
	195	4,291.6	4,298.3	4,370.9	4,368.3	4,358.4	4,371.2	4,378.9	4,357.9	4,340.8	4,378.9
	200	4,258.5	4,314.3	4,335.1	4,381.3	4,387.5	4,396.8	4,371.3	4,359.7	4,344.4	4,396.8
	205	4,272.9	4,310.2	4,329.4	4,369.4	4,393.4	4,381.0	4,374.9	4,367.7	4,344.8	4,393.4
	210	4,272.7	4,348.2	4,351.9	4,372.8	4,367.2	4,378.1	4,381.2	4,353.0	4,344.1	4,381.2
	215	4,272.1	4,313.5	4,334.8	4,376.2	4,375.8	4,382.4	4,373.8	4,344.4	4,352.0	4,382.4
	220	4,240.7	4,310.1	4,348.5	4,338.1	4,369.2	4,338.7	4,351.3	4,350.8	4,285.3	4,369.2
	225	4,249.2	4,281.8	4,303.4	4,345.7	4,338.2	4,347.9	4,328.2	4,330.1	4,332.7	4,347.9
	230	4,219.1	4,278.2	4,286.3	4,307.5	4,330.8	4,330.1	4,344.9	4,320.9	4,294.9	4,344.9
	235	4,201.3	4,245.3	4,302.4	4,300.2	4,298.1	4,329.6	4,339.2	4,290.8	4,279.5	4,339.2
	240	4,190.9	4,256.6	4,271.9	4,287.6	4,294.5	4,302.6	4,280.8	4,256.8	4,276.6	4,302.6
	Max	4,294.2	4,348.2	4,370.9	4,381.3	4,393.4	4,402.4	4,381.2	4,367.7	4,352.0	4,402.4

P250 図7.12



P255 上から6行目:「”I41:J460」 → 「”I41:J460”」

P255、256 「ブーツストラップ分析」プログラム内: すべての「元本割れ」 → 「破綻」

すなわち、「元本割れ」→「破綻」、「元本割れ数」→「破綻数」、「元本割れ確率」→「破綻確率」

P273 表8. 5の状態価格: 表8. 4の状態価格と同一

P274 式(8.12): 「 e^{rT} 」 → 「 $e^{r\Delta t}$ 」

P287 式(8. 41)の二番目の式: 「 f 」 → 「 df 」

P292 下から1行目: 「NPV分析」→「DCF法」

P336 ページ中程の段落3行目: 「MDJコール」 → 「MJDコール」

P342 下から3行目: 「 $\sigma\sqrt{\Delta t}$ 」 → 「 $\sigma^2\Delta t$ 」

P342 下から2行目: 「 $\xi\sigma_L\sqrt{\Delta t} = \sigma\sqrt{\Delta t}$ 」 → 「 $(\xi\sigma_L)^2 = \sigma^2\Delta t$ 」

P349 上から10行目: 「 $\ln(x) = S$ 」 → 「 $x = \ln S$ 」

P361 プログラム1行目: 「HesonEuler」 → 「HestonEuler」

※ワークシートのマクロボタン登録も変更する。

P402 下から2行目プログラム・コメント: 「算高」→「残高」